

# 参考資料

## 1. 菱野団地再生計画策定検討委員会

### (1) 設置要綱

#### 菱野団地再生計画策定検討委員会設置要綱

##### (目的)

第1条 菱野団地における福祉、子育て、定住、交通、まちづくり等の分野を横断したハード・ソフト両面の菱野団地再生計画の策定にあたり、必要な事項を検討するものとする。

##### (設置)

第2条 前条の目的を達成するにあたり、菱野団地再生計画に関する事項を検討するため、「菱野団地再生計画策定検討委員会（以下「委員会」という。）」を置く。

##### (検討事項)

第3条 委員会は、次に掲げる事項を検討する。

- (1)菱野団地再生計画の策定に関する事項
- (2)前号に掲げるもののほか、委員会が必要と認める事項

##### (組織)

第4条 委員は、次に掲げるもののうちから市長が委嘱する。

- (1)学識経験者
- (2)住民代表
- (3)NPO法人及び市民団体
- (4)民間企業
- (5)その他市長が必要と認める者

##### (任期)

第5条 委員の任期は、委嘱の日から菱野団地再生計画を策定する日までとする。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

##### (報償)

第6条 学識経験者、住民代表、NPO法人及び市民団体に対し、委員会開催毎に1回7,300円の報償を支払うものとする。

2 前項に加え、学識経験者に対し、会議会場までの交通費の全額を報償として支払うものとする。

(委員長及び副委員長)

第7条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は委員の互選により選出し、副委員長は委員のうちから委員長が指名する。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総括する。
- 4 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第8条 委員会は、委員長が招集する。ただし、第1回委員会については市長が招集する。

- 2 委員長は、必要に応じて委員以外の者に、委員会への出席及び資料の提出等を要請することができる。
- 3 委員会の議長は、委員長をもって充てる。
- 4 会議は、原則として公開とする。
- 5 議事内容、経過及び資料を公表することとする。

(部会)

第9条 委員会は、必要により部会を設けることができる。

- 2 部会に関する必要な事項は、委員長が会議に諮って定める。

(庶務)

第10条 委員会の庶務は、都市整備部都市計画課において行う。

(委任)

第11条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定めるものとする。

附 則

この要綱は、平成29年11月1日から施行する。

## (2) 委員名簿

菱野団地再生計画策定検討委員会 委員名簿 (敬称略)

		所 属 等	氏 名
1	学識 経験者	南山大学 総合政策学部 教授	石川 良文
2		名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授	鈴木 温
3		名古屋大学 情報学部 情報学研究科 講師	浦田 真由
4	住民代表	八幡台自治会 会長	伊藤 勉
5		八幡台自治会 副会長	水野 養老
6		原山台連合自治会 副会長	三浦 政彦
7		原山台連合自治会 会長	小柳 監一
8		萩山台連合自治協議会 副会長	平野 茂
9		萩山台地域力向上委員会 委員長	水野 和正
10	NPO 法人 市民団体	NPO法人瀬戸地域福祉を考える会まごころ 代表理事	大秋 恵子
11		NPO法人エム・トゥ・エム 代表理事	服部 悦子
12		NPO法人ネットワーク・せとっこ 副理事長	西尾 一己
13		おせっかいプロジェクト 代表	神田すみれ
14	民間企業	菱野団地商店街振興組合 理事長	新井 晴彦
15		瀬戸信用金庫 総合企画部 地域貢献グループ グループ長	酒向 清治
16		NTT西日本 公共営業部門 公共SI・推進担当 担当課長	中島 盛治
17		名鉄バス株式会社 運行部運行課 課長	吉岡 実 (近藤 博之)
	オブザーバー	早稲田大学 スマート社会科学技術融合研究機構	井原 雄人
		瀬戸信用金庫 菱野支店 支店長	宮本 要 (永井 康之)
		愛知県 建設部 建築局 住宅計画課 課長	成田 清康 (山川 博幹)
		愛知県 建設部 建築局 公営住宅課 課長	久野 明 (金田 高幸)
		愛知県住宅供給公社 総務企画課 経営企画室 室長	長江 誠司
	瀬戸市	都市整備部 (事務局)	
		市長直轄組織、地域振興部、健康福祉部	

( ) は前任者

### (3) 策定の経緯

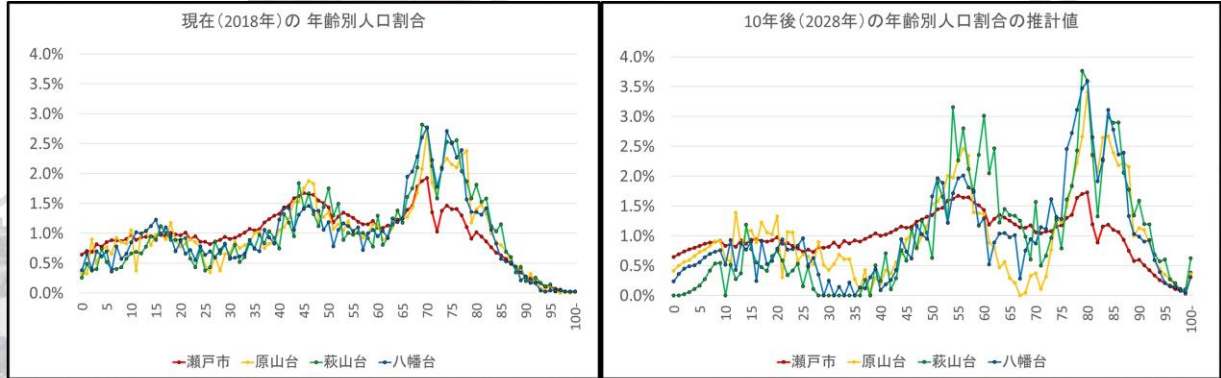
種 別		開催日・場所	内 容
平成 29 年度	第1回検討委員会	平成29年11月14日 八幡公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員委嘱</li> <li>・菱野団地再生計画の策定について</li> <li>・全体計画の検討</li> <li>・住民意向調査の検討</li> <li>・住民ワークショップ（作業部会）の検討</li> </ul>
	第2回検討委員会	平成30年2月20日 八幡公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民意向調査の結果報告</li> <li>・第1回住民ワークショップの結果報告</li> <li>・今後の進め方の検討</li> </ul>
平成 30 年度	第3回検討委員会	平成30年7月3日 原山公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菱野団地再生に向けたICT活用（案）についての提案（NTT西日本 公共営業部門 中島委員）</li> <li>・第2回住民ワークショップの結果報告</li> <li>・地域課題の整理</li> </ul>
	第4回検討委員会	平成30年9月25日 八幡公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回住民ワークショップの結果報告</li> <li>・菱野団地再生に向けた提案（名城大学 鈴木温研究室）</li> <li>・住民意向調査の結果報告</li> <li>・取組み事例の紹介</li> <li>・菱野団地再生方針の検討</li> </ul>
	第5回検討委員会	平成30年11月6日 原山公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4回住民ワークショップの結果報告</li> <li>・住民意向調査の追加報告</li> <li>・菱野団地再生方針の検討</li> <li>・先行プロジェクトの検討</li> <li>・中・長期計画の検討</li> </ul>
	第6回検討委員会	平成31年1月29日 八幡公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菱野団地再生計画（案）の検討</li> </ul>
	パブリックコメント	平成31年2月8日～ 平成31年3月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設窓口、菱野団地内各公民館及び集会所での計画案閲覧</li> <li>・ホームページによる計画案縦覧</li> <li>・意見書の提出</li> </ul>
	策定・公表	平成31年3月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菱野団地再生計画 策定・公表</li> </ul>

## 2. 菱野団地再生に向けた提案

(名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科 鈴木温研究室)

### 菱野団地の現状分析

#### ■年齢別人口推計(コーホート要因法を用いて推計)

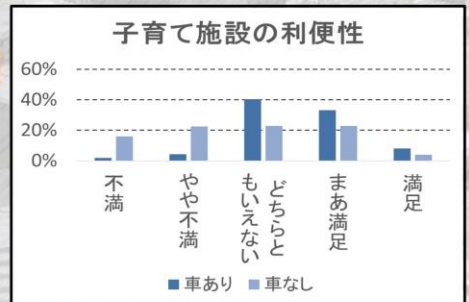
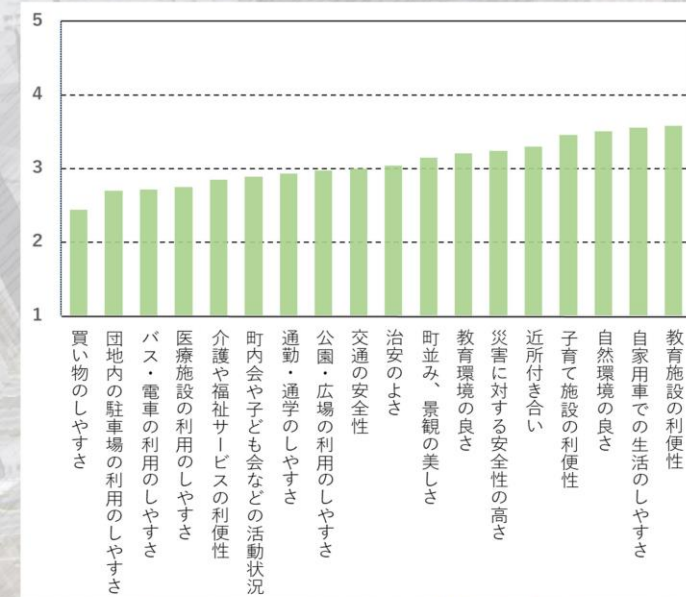


#### 10年後には

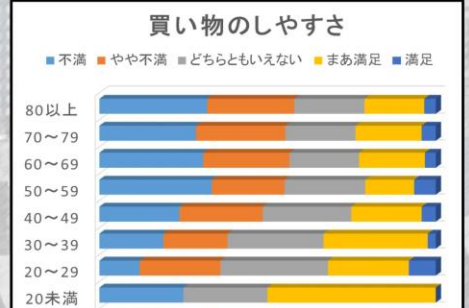
- ・総人口が減少する
- ・子供の減少が加速する
- ・25～35歳の世代がほとんどいなくなる?(萩山台が特に深刻)
- ・65歳以上の割合が今よりも増加する

#### ■団地の満足度(瀬戸市役所菱野団地アンケート調査より)

1不満足 2やや不満足 3どちらともいえない 4まあ満足 5満足



車がない世帯は子育て施設の利便性に不満



年齢の高い人ほど買い物のしやすさに不満

#### 分析の結果から見える菱野団地の現状の課題

- ・公共交通の利便性が悪い
- ・施設が老朽化しており、景観がよくない
- ・人々が会話や交流をする場所が少ない
- ・車がない世帯は生活がしにくい
- ・高齢者を中心に買い物利便性に不満
- ・駐車場が少なく、路上駐車がが多い

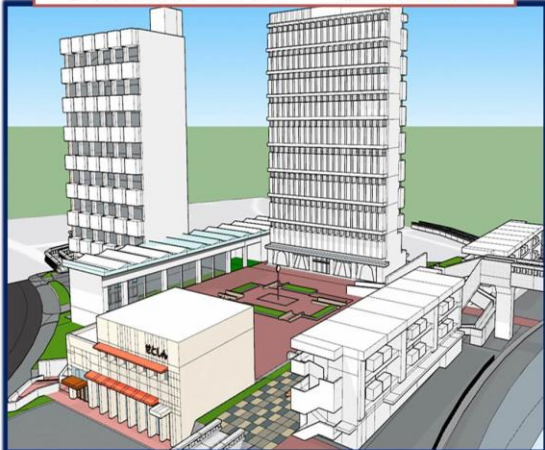
■名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科 教授 鈴木 温

4年 浅野和貴 飯塚亮太 河地達矢 鬼頭琴美 久米晴華 後藤雅弥 平沼克 平野巧真 福留悠人

# 菱野団地センターエリア再生計画の提案①

## 3D都市モデルで作成した菱野団地センターエリアの全体図

菱野団地センターエリア(現況)



菱野団地センターエリア(再生後)



## 3D都市モデルで作成した菱野団地中心エリアの再生計画

大型商業施設



・大型商業施設を建設し買い物の利便性を向上する。

施設内の店舗案

- ・地産地消
- ・質の良い品揃えのスーパー
- ・レストラン(子連れも入りやすい店)
- ・カフェ
- ・伝統の焼き物販売

・郵便局や瀬戸信用金庫などもこの施設へ移転

子育て世代・高齢者の支援施設  
芝生スペース



・子育て世代・高齢者など様々な世代が交流できる場とする。

緑の通路



・大型商業施設までの通路を緑豊かな「歩きたい通路」へ

立体駐車場



・駐車場を立体にすることで駐車場の利便性を向上する。

■名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科 教授 鈴木 温

4年 浅野和貴 飯塚亮太 河地達矢 鬼頭琴美 久米晴華 後藤雅弥 平沼克 平野巧真 福留悠人

RISING 名城大学

# 菱野団地住宅・公共施設再生計画の提案②

## 提案②-1 小学校の統廃合



## 提案②-2 小学校跡地に戸建住宅を建設



- ・空いた2つの小学校跡地のうち、1箇所を宅地として再開発する
- ・原山小学校の敷地を宅地分譲 (一戸50~60坪ほどで70戸ほど)

## 提案②-3 小学校跡地に総合スポーツ施設を建設



- ・八幡小学校跡地に、プール、ジム、フットサル場、テニスコートなどを設備した総合スポーツ施設の建設
- ・都市機能の観点から防災施設としても活用できる
- ・昨今の健康意識の高まりから、世代を超えた地域住民の交流が生まれる

### 参考)個人・世帯属性に応じた居住地選択(webアンケート調査より)

	単身	2人世帯	夫婦+子ども	夫婦+子ども 2人	夫婦+親	夫婦+子ども +親
1位	価格・家賃 (41.1%)	価格・家賃 (33.9%)	価格・家賃 (34.4%)	価格・家賃 (30.6%)	親と同居 (51.1%)	子育て環境 (25.3%)
2位	職場までの距離 (26.6%)	公共交通 (27.2%)	公共交通 (27.2%)	子育て環境 (26.8%)	価格・家賃 (13.3%)	学校までの距離 (23.2%)
3位	公共交通 (20.9%)	買物が便利 (22.6%)	買物が便利 (25.0%)	公共交通 (25.6%)	道路利便性 (11.1%)	価格・家賃 (21.9%)
4位	買物が便利 (18.2%)	職場までの距離 (21.9%)	職場までの距離 (22.8%)	学校までの距離 (24.4%)	買物が便利 (11.1%)	親と同居 (21.0%)
5位	住宅広さ (14.2%)	住宅広さ (19.1%)	住宅広さ (21.9%)	家族・親戚と近い (23.5%)	治安が良い (11.1%)	公共交通 (18.1%)

### Webアンケート調査概要

- 実施期間: 2017年11月~2018年1月
- 実施主体: 名城大学、建築研究所 豊橋技術科学大学
- 対象都市: 全国48都市
- サンプル数: 7995
- 10年以内に引越を行った人

#### 若年層

価格・家賃、職場までの近さ、公共交通利便性を求めている

#### 中年層

子育て環境や住宅の広さ、家族や親戚との近さを求めている

#### 高年層

自然環境の良さや、公共交通利便性、買い物の便利さを求めている

	20代	30代	40代	50代	60代	70代
1位	価格・家賃 (28.7%)	価格・家賃 (33.5%)	価格・家賃 (33.2%)	価格・家賃 (35.9%)	価格・家賃 (30.5%)	公共交通利便性が高い (69.4%)
2位	職場から近い (22.0%)	職場から近い (23.3%)	公共交通利便性が高い (24.1%)	公共交通利便性が高い (26.3%)	公共交通利便性が高い (28.6%)	自然環境が良い (65.3%)
3位	公共交通利便性が高い (18.3%)	公共交通利便性が高い (23.0%)	職場から近い (22.6%)	職場から近い (19.5%)	買物が便利 (25.4%)	買物が便利 (62.5%)
4位	学校から近い (15.5%)	買物が便利 (22.1%)	買物が便利 (19.6%)	買物が便利 (22.1%)	駐車場が確保できる (22.1%)	価格・家賃 (62.5%)
5位	買物が便利 (15.2%)	住宅の広さ (18.9%)	住宅の広さ (18.2%)	住宅の広さ (18.9%)	道路利便性が高い (20.6%)	住宅の広さ (51.4%)

■名城大学工学部社会基盤デザイン工学科 教授 鈴木 温

4年 浅野和貴 飯塚亮太 河地達矢 鬼頭琴美 久米晴華 後藤雅弥 平沼克 平野巧真 福留悠人



### 3. かわら版

【かわら版第1号】(2018年4月発行)

## 瀬戸市 みんなで描く 菱野団地 あらたなまちづくり

### かわら版 第1号

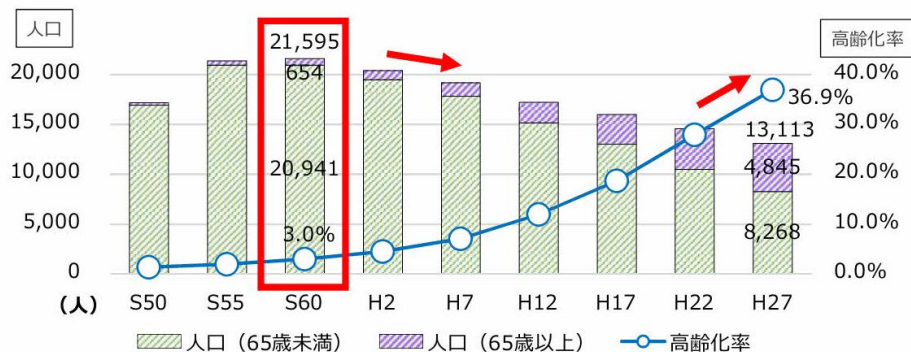
菱野団地は県下でも有数の大型住宅団地として整備されましたが、完成から40年以上が経過し、急激な人口減少、少子高齢化が進んでいます。

本市では、第6次総合計画及び都市計画マスタープランにおいて、菱野団地を地域拠点と位置付け、新しい居住の循環をもたらす工夫や、公共交通をはじめとする生活利便性の向上を図ることを目標としています。

このため、平成29年11月、住民代表、NPO法人、学識経験者、民間企業、行政等で組織された「菱野団地再生計画策定検討委員会」を設立するとともに、住民ワークショップ「カタリバ」を開催し、住民の皆さんが菱野団地について、日ごろ感じている事やこうなったらいいのと思っている事などを話し合っています。

第1号のかわら版では、「カタリバ」を開催した様子や住民の皆さんにご協力いただいたアンケート調査の結果をお伝えします。

【菱野団地の人口と高齢化率の推移】



平成30年2月4日(日) 10:00~12:00 原山公民館

### カタリバ「菱野団地について語るバ」

進行役：三矢勝司さん(NPO法人岡崎まち育てセンター・りた)、名畑恵さん(NPO法人まちの縁側育み隊)

菱野団地にお住まいの方など35名が住民ワークショップ「カタリバ」に参加されました。

三矢さん、名畑さんの進行で、同じような意識を持つ人たちが6つのグループに分かれ、菱野団地のいいとこ、きになるところを各参加者が付箋紙に書き、グループ内で共有・意見の整理(①を参照)をしました。グループワークの結果発表では、「こんな菱野団地にしていきたい」という思いや、「菱野団地再生に向けて大事にしたいキーワード(②を参照)」を参加者全体で共有することができました。





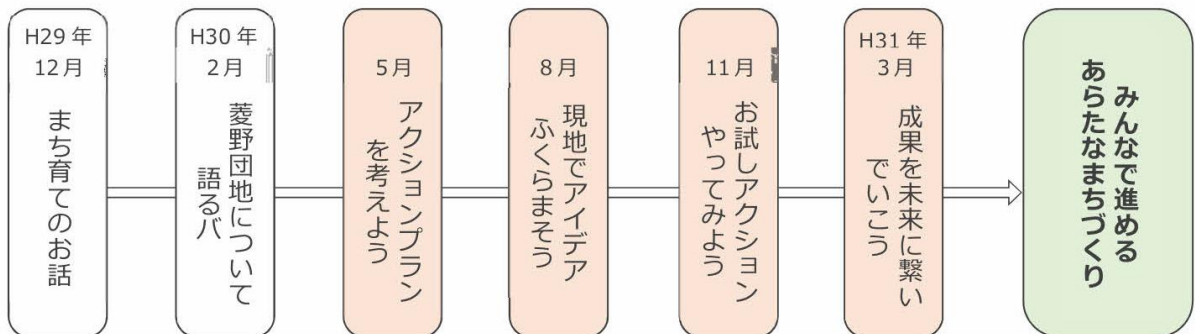
## ① 「こんな団地にしていきたい」各グループのキーワード



## ② 菱野団地再生に向けて大事にしたいキーワード

- ひ 「ひしめく遊び場づくり」**  
センター地区を高齢者が毎日でかけたくなる場所へ! (健康増進、遊び、仕事)
- し 「少子化問題に一手打つ」**  
世代のニーズ分析をはじめ、大学生コラボ(住まう、商う)も視野に!
- の 「のんびり空間を活かす」**  
空き家、路駐(空いている道路)、公園(あるけど使いにくい)の使い方を変える!

### 【住民ワークショップの進め方(予定※)】



※各日程・内容については予定であり、変更になる可能性があります。

菱野団地のあらたなまちづくりをともに考え、描き、実践していく方のご参加をお待ちしています。  
ご参加いただける方は、下記までご連絡ください。

【問い合わせ先】 瀬戸市 都市計画課  
【TEL】 0561-88-2680 【FAX】 0561-88-2695 【E-mail】 tokei@city.seto.lg.jp

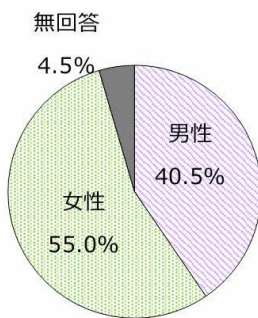
発行日：平成30年4月 発行者：瀬戸市 都市計画課

# アンケート調査

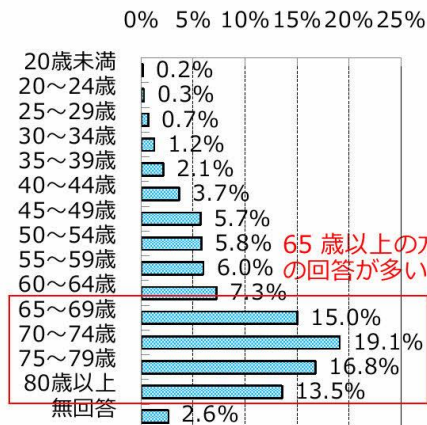
「菱野団地にお住まいの方へのアンケート調査」の実施にあたり、多くの方にご協力をいただきありがとうございました。アンケート調査結果の概要を報告します。

目的	菱野団地再生計画の策定に向けて、菱野団地にお住まいの方の現状や意向を確認し、今後のまちづくりに関するご意見やご提案をお聞きするため、アンケート調査を実施しました。
期間	平成 29 年 12 月 15 日～平成 30 年 1 月 31 日
回収結果	(配布数) 6,050 通 (回収数) 2,565 通 (回収率) 42.4%

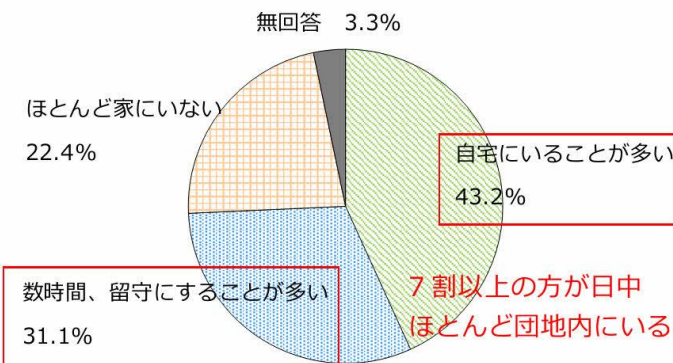
## 【性別】



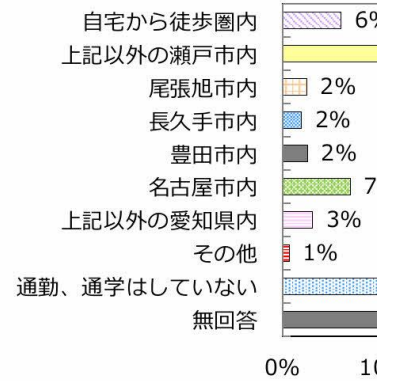
## 【年齢】



## 【日中の居場所】

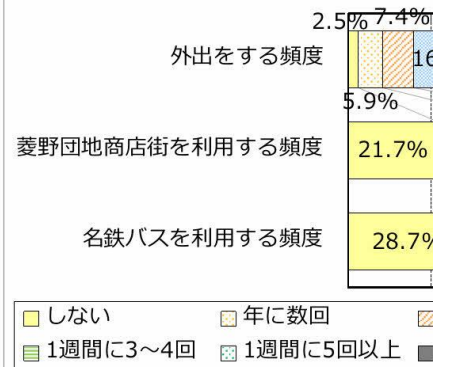


## 【通勤・通学】



## 【外出の頻度】

- 菱野団地商店街を定期的に利用する
- 名鉄バスを定期的に利用する



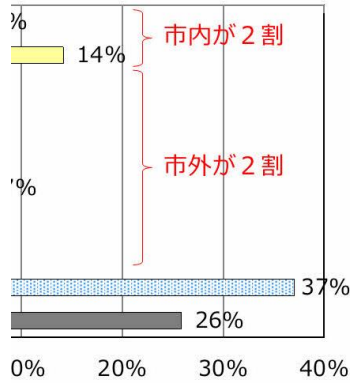
## 【お住まいの団地の満足度】

満足・まあ満足 の割合が高い項目	自家用車での生活のしやすさ 自然環境の良さ 教育施設(小学校、中学校)の利便性 子育て施設(保育園、幼稚園)の利便性 近所付き合い
不満・やや不満 の割合が多い項目	通勤・通学のしやすさ 団地内の駐車場の利用のしやすさ 医療施設の利用のしやすさ バス・電車の利用のしやすさ 買い物のしやすさ

不満足: 不満, やや不満, どちらとも

# 結果（概要版）

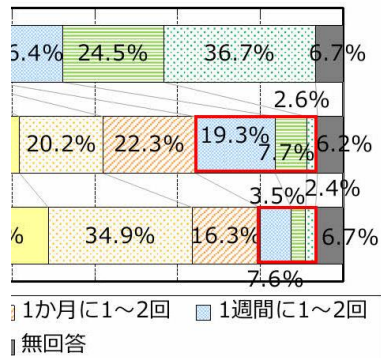
## 【居住状況】



## 【利用頻度】

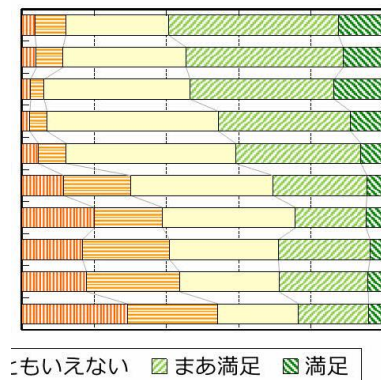
利用する人が約3割  
利用しない人が約1割

0% 40% 60% 80% 100%

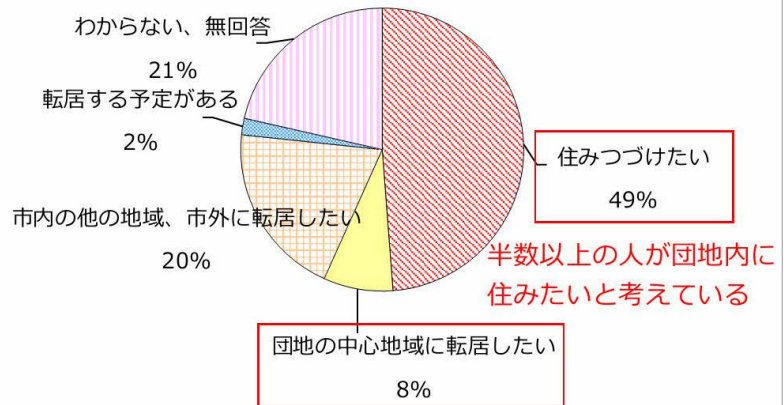


## 【満足度について】

0% 20% 40% 60% 80% 100%



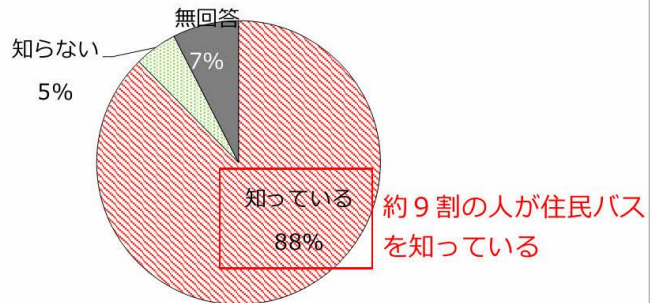
## 【居留意向について】



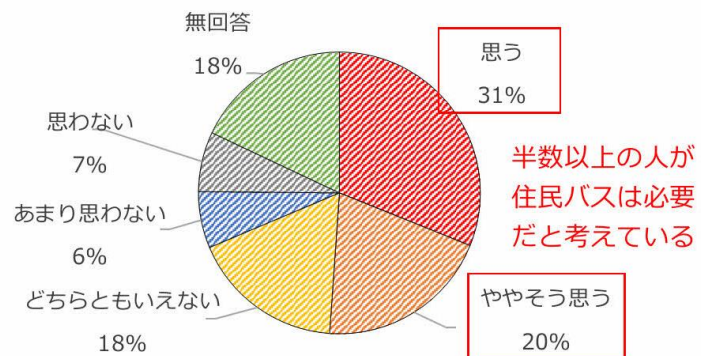
## 【転居を希望する主な理由】

・「公共交通の利便性に不満」「買い物に不便」「住宅が古い」

## 【住民バスを知っているか】



## 【住民バスは必要だと思うか】



# HISHINO DAY FESTIVAL WAYWAY MATSURI

local : Enfrente ao correio/sub.Prefeitura/praga do antigo MATSUZAKAYA

## 菱野団地 わいわい フェスティバル 菱野団地中央広場

かわら版  
第2号

※菱野団地市民サービスセンター前の広場 (小雨決行)

2018年 11月4日(日) 10:00-15:00

みんなの「やってみたいこと」を実際にやってみるお試しアクション(社会実験)  
「菱野団地わいわいフェスティバル」。ぜひふらっと遊びに来てください!



商店街  
PRブース  
も開催!

### マルシェ・飲食

菱野団地にたくさんのお店が集まります。  
お気に入りの一品や美味しいものに  
出会うチャンス!



### ピザ作り体験

自分で収穫したハーブで、  
おいしいピザをつくってみよう!  
小さなお子さんも楽しめます。



### 中央広場テラスお披露目会

愛知県立芸術大学と協同で中央広場テラスを  
リノベーション! 井戸端会議をしたくなる  
居心地のいい場所をつくります。



先着で100名様に  
ハンドタオルプレゼント!

### 住民バス特別運行

※普段の時刻表、ルートで運行します。

普段、土・日曜日は運休ですが、フェスティバルに  
合わせ特別運行し、会場前バス停も開設します。  
住民バスに乗ってフェスティバルに来場された方には  
「住民バスラッピングデザインのハンドタオル」をプレゼント!

くわしい内容は瀬戸市ホームページ  
「お知らせ」欄をご覧ください。

菱野団地再生に向けた提案もあります。  
名城大学 鈴木温研究室

主催 菱野団地再生計画住民ワークショップ 菱野団地コミュニティ交通運行協議会 瀬戸市

# 瀬戸市

## みんなで描く菱野団地 あらたなまちづくり

昨年11月、住民代表、NPO法人、学識経験者、民間企業、行政等で組織された「菱野団地再生計画策定検討委員会」を設立するとともに、住民ワークショップ「カタリバ」を開催し、住民の皆さんが菱野団地について、日ごろ感じている事やこうなったらいいのと思っている事などを話し合っています。第2号のかわら版では、住民ワークショップの様子や11月4日(日)開催のお試しアクション(社会実験)「菱野団地わいわいフェスティバル」の内容をお伝えします。

**6月10日(日)10:00~12:00 原山公民館**

### 住民ワークショップ「アクションプランを考えよう」

進行役：三矢勝司さん(NPO法人岡崎まち育てセンター・りた)、名畑恵さん(NPO法人まちの縁側育くみ隊)



菱野団地にお住まいの方など30名が住民ワークショップに参加されました。まず、三矢さんと名畑さんからアクションプランを考える上での心構え等について講演して頂いたあと、同じテーマでお試しアクションをやりたい人たちがグループをつくり、具体的なアクションを決めるための話し合いをしました。会場となる菱野団地中央広場や、準備期間限定で開放している空き店舗へ移動して現地でアイデアをふくらませました。

**8月19日(日)9:30~12:00 八幡公民館、菱野団地中央広場**

### 住民ワークショップ「現地でアイデアふくらまそう」

11月4日(日)開催の  
「菱野団地わいわいフェスティバル」  
にぜひお越しください。

※内容については予定であり、変更になる可能性があります。

菱野団地のあらたなまちづくりをともに考え、描き、実践していく方のご参加をお待ちしています。ご参加いただける方は、下記までご連絡ください。

【問い合わせ先】瀬戸市 都市計画課

【TEL】0561-88-2680 【FAX】0561-88-2695 【E-mail】tokei@city.seto.lg.jp



## 菱野団地のあらたなまちづくりに向けて

菱野団地は県内でも有数の大型住宅団地として整備されましたが、完成から40年以上が経過し、急激な人口減少、少子高齢化の進行をはじめ、多くの課題が存在しています。

このため、平成29年11月に「菱野団地再生計画策定検討委員会(委員長・石川良文南山大学総合政策学部教授)」を設立し、住民代表、NPO法人、市民団体、学識経験者、民間企業、行政等のさまざまな主体が参加し、菱野団地のあらたなまちづくりについて話し合っています。



検討委員会(名城大学鈴木温研究室学生からの提案の様子)

## 菱野団地再生計画とは？

菱野団地のあらたなまちづくりの方向性を具体的に示した計画です。菱野団地のまちづくりの基本方針と、福祉、子育て、定住、交通、まちづくり等の分野を横断したハード・ソフト両面の取組方針、方針に基づく具体的なプロジェクトを示しています。

## 菱野団地再生計画(案)

### 再生の理念

みんなでつくる、住みよいまち 菱野団地

### 5つの基本方針と取組方針

- 1 センター地区を活用した交流拠点づくり
- 2 安全・安心に暮らせる環境づくり
- 3 若い世代に住みたいと選ばれる団地づくり
- 4 高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり
- 5 多文化共生の地域づくり

福祉、子育て、定住、交通、まちづくり等の分野を横断したハード・ソフト両面の20の取組方針

# ～10年後の2028年度を目指して～

## 先行プロジェクトをさらに発展させ、 取り組む中・長期計画

### センター地区の機能強化 やアクセスの改善

センター地区の民間活力の活用を検討し、空き店舗の活用やアクセスしやすい環境整備を進めます。

### 駐車環境の改善

路上駐車対策等を進め、不足している駐車場の確保や、カーシェアリングの実証実験等を進めます。

### 回廊式の歩道橋等の 整備・修繕

歩道橋等の点検や修繕、段差解消や手すりの設置等のバリアフリー化を進めます。

### 防犯灯等の施設整備

歩道や広場等へ防犯灯や防犯カメラ等の設置を進めます。

### 緑地等の環境整備・ 活用・景観形成

身近な緑を、住民や事業者等との協働によって維持、活用し、緑豊かな環境と景観づくりを進めます。

### 小中一貫教育・適正 配置・公園等の改修

小中一貫教育の実施や学校の適正配置の検討等により、子どもがのびのびと学ぶ環境づくりを進めます。

### 公共交通の 維持・活性化

ニーズに応じた運行内容の見直しや、乗継環境の改善等により、公共交通の利便性向上を図ります。

### グローバルリーダーの 発掘と育成

外国人と日本人を橋渡しするグローバルリーダーの発掘と育成を進めます。

## 菱野団地再生計画(案)への ご意見をお寄せください。

**募集期間** 2月8日(金)~3月8日(金)必着

### 閲覧場所

都市計画課(市役所5階)、市政情報コーナー(市役所1階)、支所、市民サービスセンター、市民交流センター(パーティセと3階)、瀬戸蔵、菱野団地内の各公民館、集会所  
※市ホームページ(「市政情報」→「まちづくり」→「菱野団地あらたなまちづくり」)、右のQRコードからご覧いただけます。



### 提出方法

都市計画課窓口、郵送、FAX、Eメールで件名を「菱野団地再生計画(案)について」とし、**①市内在住・在勤・在学・市外在住の別 ②氏名 ③ご意見** を記入のうえ、ご提出ください。(様式は自由)

### 送付先

〒489-8701(住所不要)都市計画課  
FAX:0561-88-2695 Eメール:tokei@city.seto.lg.jp  
※ いただいたご意見の概要などは、個人情報を除いて市ホームページで公表する予定です。

【問い合わせ先】  
瀬戸市 都市計画課

☎ 0561-88-2680

# ～3年後の2021年度を目指して 先行して実施する5つのプロジェクト

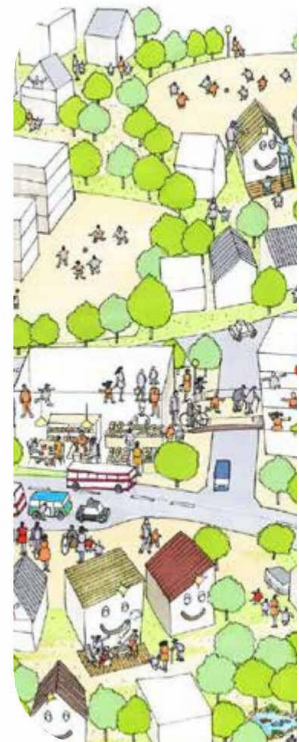
## エリアマネジメント団体プロジェクト

- ・地域課題の解決や地域経営に取り組むエリアマネジメント団体の設立
- ・八幡台、原山台、萩山台の三台が共同で実施する賑わい創出
- ・ICTを活用したプロモーション
- ・親と子ども、高齢者の居場所づくり
- ・外国人の相談窓口の設置



### 住民ワークショップメンバーによる三台共同で 実施した中央広場でのわいわいフェスティバル

商店街や事業者、大学等と連携して、今後もセンター地区の賑わいを創出する取り組み等を三台共同で進めます。



## 住民バスプロジェクト

- ・住民バスのサービス向上



### 三台をつないで運行する 菱野団地住民バス

名鉄バス・タクシーと連携し、住民バスのサービス向上を進めます。

- ・空き店舗等を活用した活動拠点の整備



### 空き店舗を活用した 住民ワークショップ

センター地区の空き店舗等の既存ストックを活用し、エリアマネジメント団体の活動拠点を整備します。





# クト



菱野団地の再生イメージ

## 県営住宅更新プロジェクト

- ・民間活力の導入を含めた計画的な建替・改善



### 建替が進む原山台の県営住宅

民間活力の導入を含めた計画的な建替・改善により、住宅戸数の見直しや機能集約を図ります。

## 空き家利活用プロジェクト

- ・空き家情報バンクの活用
- ・空き家となった戸建て住宅のリノベーション



### 瀬戸市空き家情報バンク

空き家情報バンクの活用や戸建て住宅のリノベーション等により、居住環境の更新を目指します。

## センター地区整備プロジェクト

- ・利用しやすい中央広場への改修



**住民と大学・学生が協働でリノベーションした中央広場のテラス**  
誰もが利用しやすい中央広場に向けて改修を進めます。

- ・既存駐車場等の効率的な活用



**住民バスの駐車場としての活用**  
既存駐車場の駐車需要の把握を行い、民間活力を活かした効率的な駐車場の活用を進めます。



## 5. パブリックコメント手続実施結果

- (1) 意見募集期間 平成31年2月8日(金)から平成31年3月8日(金)まで
- (2) 意見提出人数 8人
- (3) 意見件数 21件
- (4) 意見への対応
- |                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| A 意見を踏まえて、案の修正をするもの             | 0件  |
| B 意見の趣旨や内容を盛り込み済みであり、考え方を説明するもの | 6件  |
| C 今後の事業実施の参考とするもの               | 15件 |
| D その他(本計画案に対する意見でないもの等)         | 0件  |
- (5) 意見及び市の考え方について

No	意見	市の考え方	対応
1	<p>多くの人住む菱野団地の再生に立ちはだかる問題として自動車の路上違法駐車蔓延があると思います。</p> <p>団地の外周路全域にわたり数え切れない程の違法駐車が見受けられ、みんながやっているからなのか違反の意識が薄いようで当たり前のように堂々と駐車されています。本来路上は自動車の保管場所ではありません。私が初めてここを通った時にあまりの酷さに言葉を失いました。違法状態の放置は道路が狭くなり交通事故を招くほか治安悪化を招くことにつながると思います。このままだと菱野団地にマイナスイメージが定着してしまうのではないかと危惧しています。もっと本腰を入れて警察を巻き込んで取り締まりを強化するべきだと思います。新しく若い人を迎え入れるためにもマイナス要素は取り除くべきです。</p> <p>期待しています、よろしくお願ひ致します。</p>	<p>具体的なお意見をありがとうございます。路上駐車や駐車場環境につきましては、住民ワークショップや住民意向調査結果等からも課題の一つとなっています。</p> <p>課題に対して、「第3章 3. 再生に向けた20の取組方針(2)安全・安心に暮らせる環境づくり 取組方針6」において、外周道路や主要道路の駐車環境の改善を図ることとし、中・長期計画に位置付け、自治会や行政をはじめ多様な主体が連携しながら取り組んでいくこととしています。また、「第4章 2. 再生に向けた先行プロジェクト(1)センター地区整備プロジェクト」においても、センター地区における既存駐車場の駐車需要の把握を行い、民間活力等による効率的な駐車場の活用を推進することとしています。</p>	B
2	<p>私は瀬戸市に生まれたときからずっと住んでいますが暮らしに不自由を感じた事はありません。それだけいい街だとは思いますが、周りから見るとちょっと魅力がないようです。そこで、周りの魅力的な新しい街をみると住宅地にはそこそこ大きな公園がありその周りには商業施設がある事に気付きました。瀬戸にも大きな公園はありますが街の外れにあり多く</p>	<p>具体的なお意見、ご提案をありがとうございます。</p> <p>菱野団地中央広場につきましては、「第3章 再生の基本的な考え方 2. 再生の基本方針(1)センター地区を活用した交流拠点づくり」において、センター地区へのアクセス強化を図り、賑わいを創出することとしています。</p> <p>具体的には、「第4章 2. 再生に向けた</p>	C

	<p>の人は車で移動。また、そこから食事をとるなら車で30分というような形です。</p> <p>菱野団地には原山商店街、萩山商店街があります。その中心には大きな広場があり日当たりもまずまずです。ここに大きな公園、最新で安全な遊具とスポーツ（バスケットコートやフットサル）などができる場所があれば皆集まってくると思います。</p> <p>公園の対象は幼児から小学生高学年をイメージ。スポーツは中学生から大人まで。その周りの商店街には喫茶店などあったら年配の方もすごしやすいのではないのでしょうか。（この場所には小さい頃友達とよく遊んでいたのを思い出します。）商店街には駐車場もありますので遠くからも人が集まると思います。そうすれば商店街も賑わいます。そして街の良さが周りに浸透していきます。</p> <p>菱野団地は古い住宅地ではありますが再開発をするのであれば中途半端ではなく思い切って行って頂きたいです。是非周りからも憧れるような幅広い年齢に受け入れられる街にしていきたいです。</p>	<p>先行プロジェクト（1）センター地区整備プロジェクト」において、菱野団地中央広場に集まる人々が休憩したり、語り合うことができる環境を整備することとしています。また、子どもからお年寄りまでの多世代が交流できる空間を設けるとともに、誰もが利用しやすく、利用したくなる中央広場への改修等に取り組んでいくこととしています。</p> <p>いただいたご意見は今後の事業実施の参考とさせていただきます。</p>	
3	<p>たまたま新しく引っ越した場所で自治会の担当者となり、カタリバを知り途中から参加を始めました。菱野団地に住んで28年。まだまだ人の動きがあり、各三台に活気があった事を知っています。同じ団地内なのに自治会や住んでいる住民の感心度の差があることに、活動してとても残念に思っています。私自身、自治会活動に凄く興味があったわけでもなく、たまたま面倒な班長が回ってきたという感覚で班長になり、あまりにも今現在住んでいる場所に興味がない方々がたくさんみえる事に驚き、自身もそれではダメだと思って参加するようになりました。なかなか大変な事だと思います。住んでいる方々が、もっと危機感を感じ、差し出された案にもっと興味を示し活動に参加しないと、何も変わらないと思います。三台、別行動の自治会ではなく、全てまとめた、菱野団地自治会とか？</p> <p>中央から発信する定期的なイベント活</p>	<p>具体的なご意見、ご提案をありがとうございます。また、住民ワークショップ「カタリバ」へのご参加ありがとうございます。</p> <p>菱野団地の住民が一つにまとまり、事業者、企業や行政等との協働で、菱野団地の魅力を高めるあらたなまちづくりに取り組み、誰もが住み続けたい・住みたくなる快適なまちを目指していくため、再生の理念に「みんなでつくる、住みよいまち菱野団地」を掲げました。</p> <p>今後は、再生に向けた先行プロジェクトとして「(1) センター地区整備プロジェクト」や「(2) エリアマネジメント団体プロジェクト」において、中央広場を誰もが気持ちよく利用できるような環境整備を推進するとともに、三台が共同で開催するイベントやまちづくり活動を企画し、センター地区の賑わいを創出していくこととしています。</p> <p>再生計画の推進にあたっては、住民の</p>	C

	<p>動や、地味な活動、例えば中央が畑や花壇であふれ、立ち寄りたくなる場所。常に何かしら活動していて、フラリと立ち寄った方が参加できる場所。固くなり過ぎず、ゆっくり緩やかな居場所。アクセクする日常から、穏やかに過ごせて、何だかいつも人が集まっている。そんな未来の菱野団地になればと思っております。</p> <p>私自身なにも出来ません。参加する事で、何か次に繋ぐ事が出来ればと思います。</p>	<p>方々をはじめ多様な方々と協働してさまざまな取組みを進めていけるよう、広く周知するとともに、一緒に取組んでいただける方を広く募っていきます。</p> <p>いただいたご意見は今後の事業実施の参考とさせていただきます。</p>	
4	<p>歩道の整備について</p> <p>健康維持のため、よく団地の外周を散歩していますが、実際のところ、歩道がガタガタで歩きにくく、私でさえ転ばないかヒヤヒヤしながら常に足元を気にして歩いている状態です。</p> <p>そのためか、同様にウォーキングしている人の多くが、歩道ではなく車道を歩いている光景をよく目にしますが非常に危険です。私自身は散歩の際、景色に飽きないよう、原山台、萩山台、八幡台の外周を満遍なく歩いていますが、中でも萩山台の歩道のガタガタが顕著です。</p> <p>近所でもこの話題がよく挙がりますが、やはり高齢者の方々にとってこの歩道の段差の改善は急務のように感じます。なぜなら、現状の段差の多い歩道では、杖や歩行器を使つての歩行が物理的に難しく、そのことが外出を諦めたり躊躇させてしまっている実態があるためです。住民が自宅にこもりがちな環境と、活気あるまちづくりは対極にあるような気がします。歩道の段差が高齢者の方々の自宅に閉じこもる要因となってしまうよう、歩道の整備を進めることで、住民のみなさんの外出意欲を高めることも、団地の活性化につながる取り組みのひとつだと感じています。</p>	<p>具体的なお意見をありがとうございます。歩道等の社会基盤の更新につきましては、住民ワークショップや住民意向調査結果等からも課題の一つとなっています。</p> <p>課題に対して、「第3章 3. 再生に向けた20の取組方針 (2) 安全・安心に暮らせる環境づくり 取組方針8」において、誰もが安全に移動できるよう、回廊式の歩道橋などの整備・修繕に取り組んでいくこととしています。</p> <p>また、公共交通の観点からも、「(4) 高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり取組方針18」において、既存交通と連携し、住民バスのサービス向上を図りながら、高齢者をはじめとする交通弱者の移動手段の確保を図ることとしています。</p>	C
5	<p>健康増進施設の設置について</p> <p>「菱野団地住宅・公共施設再生計画の提案」にもあります、小学校跡地への総合スポーツ施設の建設を切に希望します。</p> <p>「65歳以上の回答者の55.6%は自宅に</p>	<p>具体的なお意見、ご提案をありがとうございます。また、名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科鈴木温研究室の学生さん達からいただいた「菱野団地再生に向けた提案」にご賛同いただきありがと</p>	C

	<p>いることが多い」という、住民アンケートの調査結果を拝見させていただき、とても残念に思いましたし、将来、自分も同じようになってしまうのかも不安になりました。しかし、外出を阻んでいる要因を取り除く取り組みとともに、外出することへの何か有意義な目的や目標があれば、このような状況は変えられるのではないのでしょうか。</p> <p>高齢者になると、どうしても筋力の低下や運動能力の衰えによって、転倒や骨折の危険性が高まります。とはいえ、日常では転倒予防のための身体づくりはなかなか難しいものです。健康増進施設、とりわけ膝や腰に負担が少なく高い運動効果が得られる水中運動が可能な室内プールを団地の中心部に設置し、高齢者が筋力維持のための運動を無理なく続けられる環境整備が大切だと考えます。(最近、菱野団地のすぐ近くにスポーツジムがオープンしましたが、残念ながらプール施設はないようです)</p> <p>菱野団地の人口の40%近くを占める65歳以上の方々が生き活きと健康に暮らす姿こそが、若い世代の人にとっても住み慣れたまちで安心して暮らせる「住みよいまち 菱野団地」につながるのだと思います。</p>	<p>うございます。</p> <p>「第3章 2. 再生の基本方針 「(4) 高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり」において、高齢になっても安心して生活できる交通環境等の整備や、生きがいや健康づくりにつながる活動を推進していくこととしています。</p> <p>具体的には、「第4章 2. 再生に向けた先行プロジェクト (2) エリアマネジメント団体プロジェクト」において、高齢者向けのサロン等の高齢者が気軽に集うことのできる居場所をつくるなど、福祉サービスの充実を図ることとしています。</p> <p>また、地域で活躍する高齢者(アクティブシニア層)等の活躍の場を提供することで、地域全体でお互いに支え合う仕組みづくりに取り組むこととしています。</p> <p>いただいたご意見は今後の事業実施の参考とさせていただきます。</p>	
6	<p>住民バス路線の充実について</p> <p>多くの方々のご尽力により住民バスプロジェクトが始動し、運行により交通利便性は高くなりました。ただ、それはあくまで団地内での移動にとどまった話であり、今後、徐々に路線を充実させていくことが重要かと思えます。</p> <p>住民意向調査等の結果にも出ていますように、回答者の4割以上が「バス・電車の利用のしやすさ」に不満を持っており、菱野団地からの転居を考えている人の約20%が「公共交通の利便性」を理由に挙げているという現状は思っている以上に深刻です。</p> <p>例えば利用促進の一環として、みどりのまち病院や陶生病院行きの路線を増やしたり、また、運行範囲を少し拡げ、尾張</p>	<p>具体的なご意見、ご提案をありがとうございます。</p> <p>住民バスは、菱野団地内における名鉄バスやタクシーへの乗り継ぎ、センター地区付近への買い物や通院、通所等への住民の移動手段を確保することを目的に、地域住民が主体となって、交通事業者、行政等との協働により運行しています。</p> <p>「第4章 2. 再生に向けた先行プロジェクト (3) 住民バスプロジェクト」においては、名鉄バスやタクシーなどの既存交通と連携して住民バスのサービス向上を図ることとしています。また、センター地区整備プロジェクトやエリアマネジメント団体プロジェクト等のまちづくりと連携した交通ネットワークを構築し</p>	C

	<p>瀬戸駅や瀬戸口駅までの便を運行することで住民の方々の行動範囲の幅が一気に広がり、住民バスの利便性が格段に高まります。そういったことが、住民バスがすべての世代の人のニーズに合った魅力的な交通サービスになることにつながっていくのだと感じます。</p>	<p>ていくこととしています。</p> <p>いただいたご意見は今後の事業実施の参考とさせていただきます。</p>	
7	<p>私が一番重要だと感じるのは、菱野団地にお住まいの方同士が「顔を合わせる機会を増やす」ということで、それがまちの活気を取り戻す第一歩になるのだと思います。</p> <p>そのためには、外出を促す環境整備や動機づけが必要なのではないかと。市の予算も限られている中で、なかなか実現は難しいとは思いますが、運動施設や住民バスの利用を通じて、いろんな世代の人たちが交流する場面を、想像を広げながら書かさせていただきました。</p> <p>菱野団地のあらたなまちづくりに向けて日々取り組んでくださっている、検討委員会やワークショップ等関係者の方々に、心より御礼申し上げます。</p>	<p>具体的なお意見をありがとうございます。</p> <p>センター地区を活用した交流拠点づくりとして、「第4章2. 再生に向けた先行プロジェクト (1) センター地区整備プロジェクト」において、子どもから高齢者や外国人までの多様な人々が学んだり、遊んだり、語り合うことができる交流スペース等を整備することとしています。</p> <p>加えて、「(2) エリアマネジメント団体プロジェクト」において、三台が一体となってセンター地区での賑わいを創出する取り組みを実施するとともに、親と子どもや高齢者などの多様な人々の居場所づくりを進めていくこととしています。</p>	C
8	<p>SDGsに賛同し、SDGs未来都市宣言（菱野団地かもしくはこれを機会に瀬戸市として）をする。そして、菱野団地再生計画（案）にも反映してほしい。</p>	<p>菱野団地の住民がまとまり、事業者、企業や行政等との協働で、菱野団地の魅力を高めるあらたなまちづくりに取り組み、誰もが住み続けたい、住みたくなる快適なまちを目指すこととしています。この取り組みは、国のSDGsアクションプランに掲げる実施指針とも同じ方向性を持つと考えています。</p>	B
9	<p>愛知県に数か所しかない青少年センター（宿泊も可能なものが望ましい）を設立する。</p> <p>また、地域にユースワーカー（若者の育成などに取り組む専門スタッフ）がいるようにしてほしい。（全国的にも珍しい事例になると思います。）</p> <p>地方自治を担える若者の育成は急務だと思うからです。最初は、菱野団地内の公民館などからユースワーカーを数人配置することから始めてはどうでしょうか。将来的にできれば、瀬戸市全域への展開</p>	<p>具体的なお意見、ご提案をありがとうございます。</p> <p>「第4章 2. 再生に向けた先行プロジェクト (2) エリアマネジメント団体プロジェクト」において、親と子ども、高齢者や外国人などの多様な人々の居場所づくりや相談しやすい窓口の設置等の支援体制の構築をはじめとした地域課題の解決に取り組むこととしています。</p> <p>また、市役所に設置されている地域若者サポートステーションや仕事・生活自立相談窓口等の既存の相談窓口や支援体</p>	C

	を求めます。	制と連携・協力を図りながら取り組んでまいります。	
10	<p>子ども・若者総合相談・支援センター（例：名古屋市 子ども・若者 総合相談センターのような施設）を設立する。</p> <p>理由としては、昨今、ニート、ひきこもりなど、社会生活を営む上で困難を抱える子ども・若者の方が増え社会問題化しています。そこで、瀬戸市内にはない、子ども・若者総合相談・支援センターを新設し、相談にのり、その子ども・若者の状況に応じた支援機関へつなぐ機関が必要だと感じたからです。</p>	<p>いただいたご意見は今後の事業実施の参考とさせていただきます。</p>	C
11	<p>幼年期～中年期（0歳～64歳ぐらいで高齢者・障がい者・子育てをしている親以外の社会福祉制度にあてはまらない人）の支援施設を新設する。もしくは、瀬戸市役所にある仕事・生活自立相談窓口（社会福祉課）を菱野団地の公民館などにも作る。（幼年期～中年期総合支援センター）</p> <p>理由としては、昨今、ニート、ひきこもりなど、社会生活を営む上で困難を抱える子ども・若者・40歳以上の大人も含む）な方が増え社会問題化しています。また、全年齢で高齢者・障がい者・子育てをしている親以外の社会福祉制度にあてはまらない（制度のはざまにいる）人も増加の一途をたどっています。</p> <p>（例）介護離職・ヤングケアラー問題などこれらの問題は、労働人口の減少や地域経営にも影響するため対策が必要だと考えます。</p> <p>これらは本来、瀬戸市の都市計画などに組み込まれる性格のものであると考えますが、最初は菱野団地内の公民館などから始めていただけのことを求めます。必要なら、一緒に取り組みたいと考えます。 よろしくお願ひします。</p>		C
12	<p>八幡台の団地外周をぐるっと回らなければ行きたい所に行けないのが不便です。</p> <p>階段や通路を作って頂けると有難いです。ブライト歯科や瀬戸西高校、瀬戸口駅に行くのにも便利です。よろしくお願ひ</p>	<p>具体的なお意見、ご提案をありがとうございます。</p> <p>子どもや若者から高齢者の方まで誰もが住み続けたい、住みたくなる快適なまちを目指していくため、再生の理念に「みんなでつくる、住みよいまち 菱野団地」</p>	C



	<p>いたします。</p>	<p>を掲げました。</p> <p>そして、高齢者がいきいきと暮らせるまちづくりとして、高齢になっても安心して生活できる交通環境等の整備に取り組むこととしています。</p> <p>具体的には、「公共交通の維持・活性化」として、日常生活における団地内外への移動を確保、維持するため、バスやタクシー等の公共交通の利便性の向上を図ることとしています。</p> <p>なお、現在運行している住民バスは、各団地の外周道路上では交差点や横断歩道を除く安全な場所で乗降していただくことができます。例えば、原山小学校西側付近で乗降していただくと、階段を下りて緑町の商業施設等へお買い物に行くことができます。</p> <p>いただいたご意見は今後の事業実施の参考とさせていただきます。</p>	
13	<p>菱野団地は、長く住んでおられるご年配の方がとても温かく子どもたちを見守ってくださいます。</p> <p>市役所の出張所、信用金庫、郵便局、子どもたちが安全に歩いておつかいに行けるスーパーもあり、中央広場も広く、車の乗り入れがないので安心して遊ばせることができます。近くに公園もたくさんあります。</p> <p>このように子育て世帯にとって暮らしやすい環境にあるにもかかわらず、子どもが少ないこと、また広場や商店街に今ひとつ活気がないことを残念に感じています。そんな中で、市が、専門家の方とも連携しながら、住民、各団体、企業等とひとつとなつて菱野団地のあらたなまちづくりに乗り出してくださったことに感謝しています。</p>	<p>具体的なお意見をありがとうございます。</p> <p>「第4章 2. 再生に向けた先行プロジェクト (2) エリアマネジメント団体プロジェクト」において、子育て世代の転入をはじめとする定住や交流を促進するため、ICTを活用したプロモーションにより、充実した子育て環境や豊かな自然環境などの菱野団地の魅力やまちづくりなどの情報発信に取り組むこととしています。</p>	B
14	<p>センター地区の機能強化について</p> <p>菱野第3住宅の10棟の1F、また、その付近にいくつか空き店舗があります。また、第二住宅の一室も自治会用の部屋となっていますが、会議があるとき以外は使われていません。そのような場を、子育て支援や世代間交流の拠点として活用</p>	<p>具体的なお意見、ご提案をありがとうございます。</p> <p>センター地区の機能強化については、「第3章 2. 再生の基本方針 (1) センター地区を活用した交流拠点づくり」において、センター地区へのアクセス強化を図り、賑わいを創出することとして</p>	C

	<p>してはどうでしょうか。</p> <p>活動内容としては、就園前の親子が集って遊べるスペース、年配の方が憩えるサロン、放課後の子どもたちの居場所となる場、一緒に勉強できるスペース、子ども文庫、子ども食堂、地域を活性化するための話し合い、外国からの住民との交流、大人向けのセミナーなど。それらの場を分けるのではなく、ひとつの場所でシェアしながら行うことで、様々な交流が行われ、お互いのニーズを知りあうことができるし、地域のみんなで子どもたちやお年寄りを孤独にしない、守るという気持ちでつながりあえば、防災、防犯意識も高まると思います。また、この地域は子どもの学力が低いと言われている中で、一緒に学び合い高め合うことができるように、場と人材（ボランティアスタッフなど）があればサポートできると思います。</p> <p>菱野住宅は住宅供給公社の管轄なので、費用の面など課題もあると思いますが、例えば市が借り上げて一部有料レンタルスペースとして運営するとか、そのような子育て支援や地域活性化のための事業や活動に対して補助金を出すなどの支援があるといいと思います。</p> <p>そのように、年配の方の経験や知恵、スキル、活力を子どもたちに提供して頂き、子どもたちのエネルギーと愛を特にお一人暮らし等の年輩の方にお返しするという循環ができたならとても素敵なまちになると思います。</p>	<p>います。</p> <p>具体的には、「第4章 2. 再生に向けた先行プロジェクト (1) センター地区整備プロジェクト (2) エリアマネジメント団体プロジェクト」において、センター地区の空き店舗等の既存ストックを活用した活動拠点を整備することとしています。</p> <p>実際に住民ワークショップ「カタリバ」におきまして、菱野第3住宅10棟の空き店舗を活動拠点として利用しました。</p> <p>活動拠点には子どもから高齢者や外国人までの多様な人々が、学んだり、遊んだり、語り合うことができる交流スペース等を整備し、エリアマネジメント団体プロジェクトの取り組みの場として活用することとしています。</p> <p>また、これらの取組みについては、「みんなでつくる、住みよいまち 菱野団地」という理念のもと、住民の方とともに、事業者、企業や行政等が協働で取り組んでまいります。</p> <p>いただいたご意見は今後の事業実施の参考とさせていただきます。</p>	
15	<p>小中一貫教育、適正配置について</p> <p>八幡小学校、原山小学校、萩山小学校はどこも少人数となっています。少人数の学校の良さもありますが、合併することで運営費も削減できます。また、子どもたちもより多くの友達、先生方と学び合うことができ、日本語が難しい外国人の子どもたちもサポートを受けやすくなると思います。PTA活動も人数が増えれば個々の負担が減り活性化するのではないのでしょうか。通学距離の問題もありますが、検討の価値があると思います。</p>	<p>具体的なご意見、ご提案をありがとうございます。</p> <p>「第4章 3. 再生に向けた中長期計画 ③若い世代に住みたいと選ばれる団地づくり」において、小中一貫教育の実施や学校の適正配置の検討等により、子どもたちがのびのびと学ぶことができる環境づくりを進めることとしています。</p> <p>いただいたご意見は今後の事業実施の参考とさせていただきます。</p>	C

16	<p>公園等の改修について</p> <p>八幡台、原山台、萩山台には小さな公園がたくさんあります。身近なことはよいのですが、わりとどこも整備が行き届いておらず、日中に子どもたちが遊んだり、年配の方が運動をされているのはほとんど見かけません。</p> <p>市の方で整備に手が足りないのであれば、その中でもいくつか絞って整備し、そこには水道や屋根つきのベンチを配備すると人が集う場所になるいいと思います。</p> <p>今の状態ではもったいないです。自治会の活動、または小中学生の課外授業の一環として、地域の環境整備に一役買う感じで公園のごみ拾いや草取りをしたり（すごいマンパワーです！）ボランティアを募るのもいいかと思います。また、今ボール遊びや花火ができる場所がほとんどないので、そのように整備された場所では保護者の見守りの元、許可されるといいなと思います。</p>	<p>具体的なお意見、ご提案をありがとうございます。</p> <p>「第4章 3. 再生に向けた中長期計画 ③若い世代に住みたいと選ばれる団地づくり」において、子どもたちがボール遊びのできる公園や広場の改修、子どもからお年寄りまで多様な世代が交流できる環境づくりを進めることとしています。</p> <p>また、「②安全・安心に暮らせる環境づくり」において、ちびっこ広場やセンター地区周辺の緑等の豊かな自然を活かした環境教育を実施することとしています。</p> <p>いただいたご意見は今後の事業実施の参考とします。</p>	C
17	<p>グローバルリーダーの発掘と育成について</p> <p>この地域はブラジル人、ペルー人、フィリピン人、インド人等様々な文化をルーツとする方がおられます。それを「問題」ととらえず「豊かさ」として、多文化共生の楽しさが発信できるまちになるといいなと思います。住宅に住む際のマナー、ごみ出しのルール等が問題になることもありますが、単に日本のマナー、ルールが理解できていないことが原因という場合も多いと思うので、それらを学ぶ場をしっかりと通訳付きで、地域の日本人（自治会役員やボランティアなど）も参加して意見交換しながら行うと改善できるのではと思います。</p> <p>今、小学校から英語教育が取り入れられていますが、瀬戸市でポルトガル語、スペイン語が話せる人は多くの人を援助することができます。子どもから大人まで、希望者対象としたポルトガル語講座等を地域で行ってはいかががでしょうか。また、近隣の高校や大学でポルトガル語を外国</p>	<p>具体的なお意見、ご提案をありがとうございます。</p> <p>現在、菱野団地には約 1,000 人の外国籍の方が住まわれています。</p> <p>「第3章 2. 再生の基本方針 (5)多文化共生の地域づくり」として、多様な文化的背景をもった外国人居住者と日本人居住者がお互いを理解し、相互にその能力を活かして支え合える関係を築くこととしています。</p> <p>具体的には、「第4章 2. 再生に向けた先行プロジェクト (2) エリアマネジメント団体プロジェクト」において、外国人の相談窓口の設置により、子どもを持つ外国人等の生活支援とコミュニケーション支援の構築を図ることとしています。</p> <p>また、多文化共生の地域づくりとして、外国人居住者の地域参加を促し、地域住民の一員として主体的に活動できるよう、外国人と日本人の橋渡し役となるようなグローバルリーダーの発掘や育成を進めていきます。</p>	C

	<p>語として選択できるといいかもしれません。</p> <p>例えばワールドワイド文化祭的な、身近な食や言語、音楽、ダンス、美術等の文化交流イベントなど、外国人の方と一緒に計画、実行できるといいなと思います。また、外国人の子ども達の学習支援の場があるといいです。</p>	<p>いただいたご意見は今後の事業実施の参考とします。</p>	
18	<p>まちづくり計画をする際の市民への周知方法について</p> <p>さまざまな年齢、国籍、状況にある人々でまちは構成されていることを踏まえ、また一人ひとりが生き生きと住み続けられるまちづくりを進めるのであれば、子どもたち、年配の方々、外国人、また障害のある人々にもわかりやすい周知方法が必要かと思います。パンフレットの文言はやや難しく感じました。</p> <p>例えば、地域の小中学校、特別支援学校、ブラジル人学校、デイサービス等に都市計画課の方々が出向いてこの再生計画の理念をわかりやすく伝え、アイデアやニーズの聞き取りを行ったり、さらに意見がある人はこのような方法で伝えることができますよ、と周知すると良いと思いました。</p> <p>そのようなさまざまな立場の住民の方のアイデアやニーズが、机上では考えつかない素敵なまちづくりのヒントになるのではと感じました。</p>	<p>具体的なご意見、ご提案をありがとうございます。</p> <p>菱野団地の取組みについてかわら版を作成し、団地内へ全戸配布するとともに、団地内の幼稚園・保育園や小学校、商店街、企業等のご協力を得て広く配布させていただきました。</p> <p>「第4章 2. 再生に向けた先行プロジェクト (2) エリアマネジメント団体プロジェクト」において、ICTを活用したプロモーションにより、SNSやホームページなどによる魅力発信とともに、ICTを活用した仕組みづくりにも取り組むこととしています。</p> <p>住民意向調査では、ふりがなをふった日本語のアンケート調査票に加えて、スペイン語、ポルトガル語、英語に翻訳した調査票を用いて実施しました。また、小学校の授業参観日に職員が出向いて、外国人の保護者の方等に直接聞き取り調査を行いました。</p> <p>いただいたご意見は今後の事業実施の参考とさせていただきます。</p>	C
19	<p>再生計画とは少々驚きました。問題は、現在の菱野団地の一体どこが死んでいる、または死にかかっていると把握されましたか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>菱野団地は入居開始から40年以上が経過し、急激に人口減少が進行し、高齢化率も市全体を大きく上回っており、多くの課題が存在しています。</p> <p>菱野団地の現状や住民ワークショップ、住民意向調査等の結果から、菱野団地の課題を「人口」、「住宅」、「商業」、「子育て」、「高齢者」など11のカテゴリーに分けて整理しています。</p>	B
20	<p>買い物や交通の不便さでしたら、市内の他地区の方がもっと厳しいのではないですか。当地域が選ばれたのは住民の要</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>菱野団地の急激な人口減少や高齢化の状況に加え、三台それぞれに公共交通空</p>	B

	<p>請でしょうか、市当局の発想でしょうか。</p>	<p>白地域が存在し、住民の移動が確保されていない地域となっていました。</p> <p>そこで、住民が主体となり、交通事業者、行政等と協働で運行する住民バスの社会実験を平成 29 年 7 月から半年間実施し、平成 30 年 8 月から運行を再開しています。</p>	
21	<p>各分野を横断したハード・ソフト両面の計画を立てる大規模な構えですが、それは予算配分を受ける要件でしょうか。現在各分野で動いている組織に屋上屋を架すことになるのではないのでしょうか。ただし、三台共通の課題についてはそれなりの組織は必要でしょう。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>再生に向けた 3 カ年の短期計画として先行する具体的なプロジェクトと、先行プロジェクトをさらに発展させ中長期的に取組んでいく中長期計画により、計画的に取組んでいくこととしています。</p> <p>本計画の検討にあたっては、平成 29 年 11 月に菱野団地再生計画策定検討委員会を設立し、福祉、子育て、定住、交通、まちづくりなどの分野を横断したハード・ソフト両面の取組方針や具体的なプロジェクトの検討を進めてまいりました。今後は、計画に位置付けた取組みを推進するため、菱野団地再生計画推進協議会を設立し、取組みの実施状況や目標達成状況について評価・検証するとともに、社会情勢や住民のニーズの変化を把握し、計画の見直しを適切に行っていくこととしています。</p>	B

## 6. 菱野団地わいわいフェスティバル写真集

### 菱野団地わいわいフェスティバル

2018.11.4 sun



#### マルシェ・飲食





住民バス特別運行



名城大学鈴木温研究室







Continue...